CO·OP共済



事 業 の ご 報 告 ANNUAL REPORT

2020





CO·OP共済のめざすもの

私たちはCO·OP共済によって、組合員相互の助け合いにより、組合員のくらしの中の各種の危険による 経済的な損失を保障することを中心にして、組合員のくらしの向上に役立ち、生協の発展、協同組合運動 の普及と豊かな社会づくりへの貢献をめざします。

- CO・OP共済は、組合員のくらしに必要な保障を、より良い内容、より安い掛金で実現します。
 - (1) CO·OP共済の開発・改善は、組合員の二一ズを最大限に反映してすすめます。
 - (2) より安い掛金で質の高い保障内容を追求し、生命・医療分野で組合員に一番に選ばれるCO·OP共済をめざします。
- 2 CO・OP共済は、共済金の支払いを受けた組合員の声の紹介や、 共済の必要性を理解していただくことを通して、 協同組合の基本的価値である相互扶助や協同の精神を育みます。
 - (1) 多くの組合員に生協の理念と共済の加入を呼びかけて、組合員とのコミュニケーションをはかり、組合員と生協職員との信頼関係を高めます。
 - (2) 組合員と職員とのコミュニケーションを促進し、組合員相互の助け合いのこころを育みます。
- 3 CO・OP共済は、健全で効率的な共済事業の運営と加入者の拡大により 生協の社会的信頼を高めます。
 - (1) 加入者の信頼にこたえるよう、安定的かつ効率的な事業運営をめざします。
 - (2) 法令・社会的倫理を遵守し、適正な加入推進をすすめるCO·OP共済のコンプライアンス推進体制を強化していきます。
- 4 CO・OP共済は、組合員が共済や保険について学び合える機会をつくり、 くらしに役立つ保障の選択ができる力を養います。
 - (1) 組合員同士が学び合える機会をつくることで、私的保障や社会保障への関心を高めます。
 - (2) 保障を中心とした組合員の学び合いをすすめ、くらしに合った適切な選択ができるよう支援します。
 - (3) 学び合いが自主的、恒常的にすすめられるよう、生協の組合員や職員のなかにライフプランアドバイザーを育成しそのレベルアップをはかります。
- 5 CO·OP共済は、少子高齢化、健康、福祉の問題を積極的に受け止め、 社会福祉活動・災害時の対応等の社会貢献をおこないます。
 - (1) 地震等の異常災害時のお見舞金支払いに備えて継続的に積み立てを行い、全国で支援活動に取り組みます。
 - (2) 加入者に対する還元方法の一つとして、事故予防運動や健康増進活動等のサービスを検討、実施します。
 - (3) 加入者の理解を得ながら剰余金の一部を財源として社会貢献活動を行っていきます。



組織概要

(2020年3月20日現在)

組織名▶ 日本コープ共済生活協同組合連合会

略 称 ▶ コープ共済連/CO·OP共済連

設 立 ≥ 2008年11月5日

会員数 ▶ 151会員

所在地 ▶ 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号



http://coopkyosai.coop



	ごあいさつ	2
1	CO·OP共済とは ····································	6
2	2019年度のトピックス	8
3	2019年度の事業と経営の概況	12
4	CO·OP共済商品の紹介	20
5	CO·OP共済のご加入とお支払い	28
6	組合員の声にもとづく事業運営	30
7	リスク管理・コンプライアンスの取り組み	32
8	組合員・利用者へのサポート	38
9	社会的取り組み	42
10	コープ共済連および子会社の組織概要	56
11	データ編	62
12	参考資料	99
13	CO·OP共済取り扱い会員生協一覧	102
14	用語解説	106

本誌について

本誌はCO·OP共済の事業の報告書です。 また、消費生活協同組合法第53条の2にもとづくコープ 共済連のディスクロージャー資料です。

団体名称の表記について

コープ共済連は正式名称が「日本コープ共済生活協同組合連合会」、略称が「コープ共済連」「CO·OP共済連」です。日本生協連は正式名称が「日本生活協同組合連合会」、略称が「日本生協連」です。

ごあいさつ

2019年は数多くの猛烈な台風、水害が発生し、各地域 で甚大な被害をもたらしました。また、2020年は、年初よ り新型コロナウイルスが世界中で感染拡大し、WHOがパ ンデミックを宣言いたしました。幾万の尊い命が失われ、 国内はもとより全世界が悲しみに包まれています。災害な らびに感染症で亡くなられた方々のご冥福をお祈りします。 あわせて被災・罹患された方々にお見舞い申し上げますと ともに、一日でも早いご回復をお祈りしております。

CO・OP共済においては被災されたご契約者に共済金 や見舞金を迅速にお届けするため、住宅への被害に関す る請求手続きの簡素化を図り、被災地の生協とともにご 契約者訪問活動に力を尽くしてまいりました。また、新型 コロナウイルス感染症を不慮の事故とみなす感染症と取 り扱い、死亡・入院等の給付を行うこととしました。世界 的なパンデミックの一日も早い終息を願っております。

さて、2019年度の事業につきましては、CO・OP共済 7商品の加入者が892万人を超えました。共済金は、 138万件、689億円(前年比102.3%)をお支払いしまし た。また、2019年度の商品改定では、加入引受基準の 一部緩和、《たすけあい》において災害通院保障の固定 具支払い基準の改定等を実施、事務手続きの利便性を 高めるべくインターネットでお手続きが可能な契約者 専用Webページ「共済マイページ」を開設しました。

2019年12月には、公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施する「顧客満足度 調査 | の生命保険部門で三年ぶりに第一位の評価をい ただくことができました。

今後も、組合員どうしの助け合いの気持ちを形にし、 組合員のニーズに合った保障を手ごろな掛金で提供で きるよう、商品・サービスの改善にまい進してまいります。

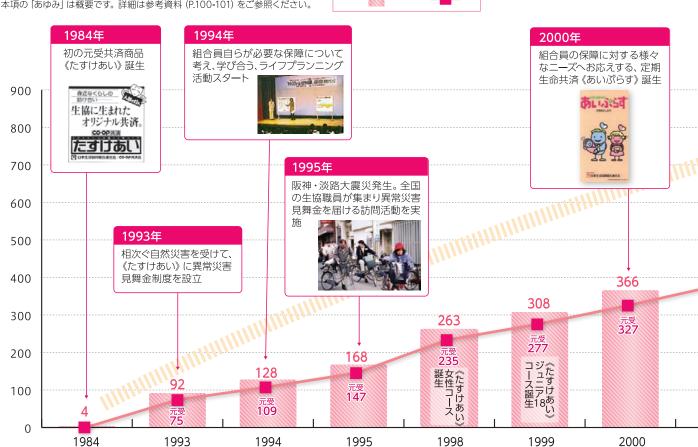
CO·OP共済の加入者の推移とあゆみ

「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれたCO・OP共済は、組合員の声をもとに、商品 の見直しを重ね、たすけあいの輪を広げ、加入者数は2019年度末に892万人となりました。

▶ CO·OP共済合計/元受共済 加入者数の推移とあゆみ

※本項の「あゆみ」 は概要です。 詳細は参考資料 (P.100-101) をご参照ください。





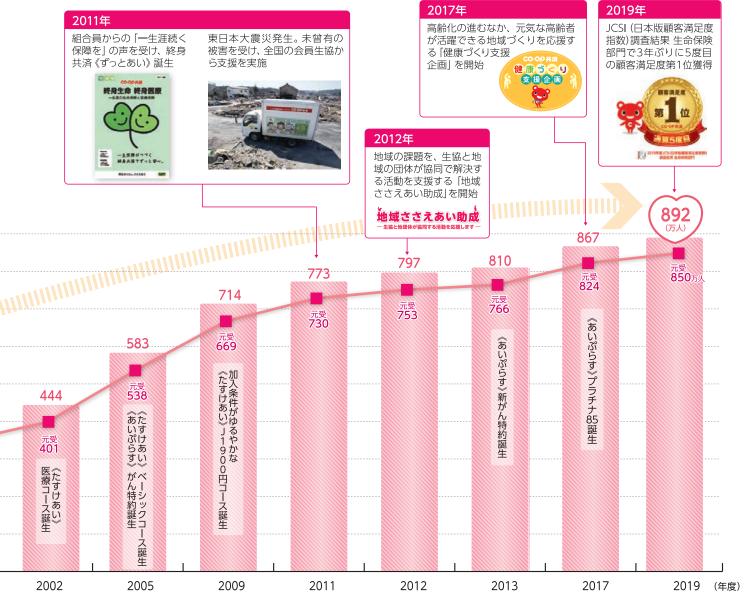
会員生協のくらしに貢献する事業への消費者・組合員の期待が高まっている中、今年は、「CO・OP共済2030年ビジョン」ならびに2020年からの三か年計画である「共済中計2022」を策定し、着実な実現への一歩を踏み出す重要な一年となります。人類共通の課題である「SDGs」に貢献していくこと、次の時代を担う若い世代にも共済の仲間に加わってもらうよう、よりよい商品づくりに取り組むこと、助け合いの共済であることを実感・共感していただくための組合員参加の場づくりを進めることなど、様々な課題に挑戦しながら厳しい事業環境を切り開いていく所存です。

さて、本誌は2019年度のCO・OP共済の取り組みを中心にご報告しております。本誌をご覧いただき、弊会の事業やCO・OP共済について、理解を深めていただく契機になれば幸いに存じます。

今後も、様々な課題に全国の会員生協とともに取り組み、引き続き組合 員のくらしの安心に貢献できるよう、組織一丸となって事業運営にまい進 する所存です。CO・OP共済に対する一層のご理解とご支援を賜りますよ うお願い申し上げます。

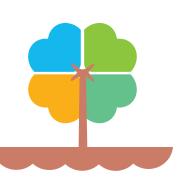


日本コープ共済生活協同組合連合会 代表理事理事長 和 田 寿 昭



CO·OP共済の2030年ビジョン

CO・OP共済は、これからの10年を考えた新しい長期ビジョン「CO・OP 共済2030年ビジョン」を策定しました。生協の保障事業として組合員の声 をベースに、手ごろな掛金、いざというとき役に立つ保障内容、わかりやす い手続き、コスト低減といった改善を常にすすめながら、組合員とその家 族によりそい役立ち続ける事業と活動を組合員と一緒につくっていきます。



ICO·OP共済が大切にしたい5つのこと



参加と共感

組合員の参加と共感のエネルギーをかたちにし、組合員どうしのたすけあいである CO・OP共済の良さや想いをより多くの組合員・職員に広めること。



くらしを取り巻く環境が厳しいからこそ、くらしの安心保障を提供するCO・OP共済が役立つ場面が増えること。特に、女性と子どもの保障に特徴を持つこと。



組合員のくらしや環境の変化をとらえ、役立ち続けられるように変わること、チャレンジすること。



人口減の中、組合員の地域でのくらしを守るために、行政や他団体と連携し地域社会での役割発揮を高めること。

* 明日のくらしをつくる 安定した事業運営

保険業界の競争激化、IT技術による業界変革、人口減少・少子高齢化による推進へのマイナス圧力に向き合っていく中で変化への対応力を向上させること。





1 たすけあいの仕組みで、生まれる前から 一生涯の保障を提供できる姿 (商品開発課題)

- ①女性と子どもの保障に特徴を持ち、わかりやす く、シンプルな保障に進化します。
- ②学生から新社会人世代へのたすけあいの輪を広げます。
- ③人生100年時代にふさわしい高齢者の保障や 健康づくり活動の充実をはかります。
- ④元受共済、受託共済、団体保険などをバランス よく取り扱い、組合員のくらしの総合保障の充 実をめざします。

3 組合員自らが「わたしたちの共済」 と思える姿

(組合員の参加と共感を広げる課題)

- ①組合員がCO·OP共済の運営に参加する場を広げます。
- ②共済事業を通じて組合員が社会貢献活動に参加する機会を広げます。
- ③会員生協の組合員活動への支援を強化し、学びあい、たすけあう活動の輪を広げます。

2 たすけあいの輪が広がっている姿 (推進課題と共同事業の課題)

- ①CO・OP共済未加入者へのお知らせと既加入者への対応をすすめます。
- ②年代ごとのおすすめ内容を明確化し、一生涯の 保障を提案します。
- ③共済推進スタッフの体制づくり支援と教育研修制度の充実をはかります。
- ④組合員同十の情報発信を広げます。
- ⑤CO・OP共済のブランディングをとおして認知 度向上の活動を強化します。

4 便利でやさしさと安心を感じる手続きができる姿

(CO·OP共済らしい事務構築の課題)

- ①加入や保全*の場面での改善をすすめます。
- ②共済金のお支払いの場面での改善をすすめます。
- ③加入者からの問い合わせ対応や定期的な案内での改善に取り組みます。
- *契約変更のお手続き

5 社会的役割発揮や生協事業の総合力発揮に貢献するCO・OP共済事業の姿 (事業としての役割発揮拡大・協同組合間協同の課題)

- ①くらしやすい地域社会の実現に向けCO·OP共済としての社会貢献活動に参加します。
- ②CO·OP共済のお役立ちの場面をより多角化する検討をすすめます。
- ③会員生協との共同事業と協同組合間協同を深めます。



6 職員がやりがいをもって 活き活きと働いている姿 (C○・○P共済を支える職員の育成課題)

- ①CO·OP共済ファンの職員を増やす取り組み*を すすめます。
- ②共済事業の専門性を高めるとともに、生協の現場を学び提案力を高めます。
- ③働き続けたい職場づくりをすすめます。
- *職員間で組合員の声やCO・OP共済のお役立ちなどを共有する取り組み

7 安定した事業運営ができている姿 (事業運営課題)

- ①基幹システムの再構築など、CO·OP共済の事業基盤を強化します。
- ②BCP対策*を継続します。
- ③適切かつ安定的な事業運営を継続します。
- ④加入者が安心して加入し続けられるよう財務の 健全性を維持・向上します。
- *事業継続計画

CO・OP共済とは

1

生協、コープ共済連とは

■生協とは

生協(消費生活協同組合)は、消費者 同士の結びつきによる非営利の協同組 織であり、「消費生活協同組合法(略称: 生協法)」にもとづいて設立されていま す。利用者である消費者自身が出資し て組合員となり、意思決定や運営に参 画して、よりよいくらしを実現すること をめざしています。

宅配や店舗での商品供給、共済、医療、福祉事業や、組合員同士の助け合い

みんなで 出資する (加入) 生協の共同所有者に みんなで みんなで 生活協同組合 運営する 利用する みんなの [ねがい] を ●宅配 ●店舗 ●商品開発 ●商品改善 実現します イベント・勉強会 ●共済 ●福祉・介護

活動、くらしに関わる学習活動など、幅広く取り組んでいます。

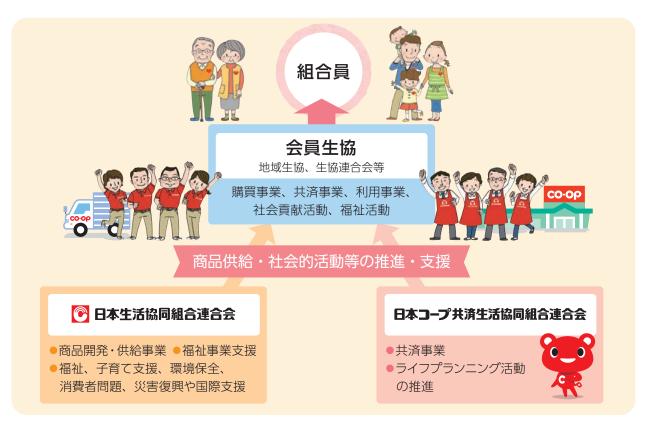
■コープ共済連とは

日本コープ共済生活協同組合連合会(略称:コープ共済連)が実施するCO·OP共済事業は、1979年、日本生協連の一事業としてはじまりました。

コープ共済連は、2007年の生協法改正に伴い、2008年11月に、CO·OP共済を取り扱う各地域の生協および 日本生協連が共同して設立した共済事業を専業とする全国連合会です。

CO·OP共済を取り扱う各地域の149の生協(および連合会)と、全国労働者共済生活協同組合連合会、日本生協連、計151の会員生協により構成されています(2020年3月20日現在)。

また、CO·OP共済事業は、日本生協連で実施する商品供給事業、福祉事業支援他の活動とも密接な関係をもち、組合員のふだんのくらしに役立つ事業をめざしています。



CO·OP共済は全国で加入できます

CO·OP共済は、主に地域の購買生協でご加入できます。ご加入いただく場合は、まず出資金をお支払いいただき、地域の生協の組合員になっていただきます。引越し等によって、やむを得ず生協を脱退する場合でも、転居先のCO·OP共済を取り扱っている生協で組合員になっていただければ契約を継続できます。

3

元受共済と受託共済

CO·OP共済には、元受共済と受託共済があります。元受共済は、コープ共済連が契約引受団体となり、共済 掛金を預かり、共済金を支払う責任を負う共済です。元受共済として、CO·OP共済《たすけあい》、CO·OP 共済《あいぷらす》、CO·OP共済《ずっとあい》終身生命・終身医療の4商品があります。なお、CO·OP共済 《たすけあい》は、ご加入の生協により、その生協が加盟する連合会(生活クラブ共済事業連合生活協同組合連 合会、パルシステム共済生活協同組合連合会、グリーンコープ共済生活協同組合連合会)とコープ共済連が共 同で引き受け、各団体がそれぞれ共済金を支払う責任を負います。

元受共済だけではカバーできない分野の保障については、全国労働者共済生活協同組合連合会や損害保険会 社等と提携して組合員に提供しています。

i	商品名	契約引受団体	取扱団体
	(1	コープ共済連	会員生協 (受託生協)
	《たすけあい》	コープ共済連・共同引受会員	会員生協
元受共済	《あいぷらす》	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身生命	コープ共済連	会員生協
	《ずっとあい》終身医療	コープ共済連	会員生協
	《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・ コープ共済連・損害保険会社	会員生協
受託共済	《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	会員生協
	火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	会員生協

※CO·OP共済の保障責任については、各契約引受団体は連帯することなく、その引受に応じて単独で責任を負います。

2019年度のトピックス

1

顧客満足度 第1位の評価をいただきました

CO·OP共済は、公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が発表した、2019年度 JCSI (日本版顧客満足度指数) 第5回調査結果発表、生命保険部門にて顧客満足度第1位の評価をいただきました。

この調査は、サービス産業の生産性を測るうえで重要な「顧客満足」を数値化・可視化して、企業や業種の成長に資する情報として用いることを目的とした日本最大級の顧客満足度調査です。CO·OP共済は6指標中4指標(顧客期待、知覚品質、知覚価値、顧客満足)において1位の評価をいただきました。



同調査において2016年度まで4年連続で獲得していた顧客満足度第1位の評価を、このたび3年ぶりに獲得したことになります。今後も組合員の皆様の暮らしに寄り添った共済としてご満足いただけるよう、努めてまいります。

2

2019年9月からの商品改定の実施

■ 脂質異常症・高脂血症の方も、一定の条件を満たす場合、ご加入いただけるようになりました。

これまで脂質異常症・高脂血症により告知事項に該当する方は、《たすけあい》・《あいぷらす》・《ずっとあい》にご加入いただけませんでしたが、2019年9月2日以後の発効契約より告知事項に加え、以下の条件を満たす場合には、新規加入・増額更改(更新)・移行が可能(一部コースを除く)になりました。

- ●申込日において満30歳以上であること
- ●過去5年以内に「脂質異常症・高脂血症」で入院歴がないこと 等

2 《あいぷらす》・《ずっとあい》終身生命加入申込時の健康診断書の提出基準が変更になりました。

《あいぷらす》・《ずっとあい》終身生命の加入申込時における健康診断書の提出基準が、2019年9月2日以後の発効契約より以下のとおりとなりました(健康状態に関する告知事項への回答は従来どおり必要です)。

■《あいぷらす》

発効時年齢	死亡•重度障害 共済金額	健康診断書 の提出
~満40歳	金額に関わらず	不要
満41歳~	2,000万円以下	不要
満50歳	2,000万円超	要
満51歳~	1,000万円以下	不要
満 <u>65</u> 歳	<u>1,000万円</u> 超	要
満 <u>66</u> 歳~	金額に関わらず	要

■《ずっとあい》終身生命

発効時年齢	死亡·重度障害 共済金額	健康診断書 の提出
~満50歳	金額に関わらず	不要
満51歳~	500万円以下	不要
満 <u>65</u> 歳	500万円超	要
満 <u>66</u> 歳~	金額に関わらず	要

※下線部分が変更となった箇所です。

3《たすけあい》の事故(ケガ)通院における固定具の支払基準が変更になりました。

2019年9月1日以降発生する不慮の事故 (ケガ) から、下記の変更後の支払基準を適用しています。

■主な変更内容

	変更前	変更後
保障金額	固定具の装着1日につき事故(ケガ)通院共済金 0.5日分(入院・通院日を除く) *事故(ケガ)通院共済金の支払限度である90日に含みます	固定具の装着期間にかかわらず <u>事故(ケガ)通</u> 院共済金10日分(同一の不慮の事故につき1回を限度に保障) ※事故(ケガ)通院共済金の支払限度である90日に含みます
免責となる部位	・手の中指、薬指、小指 ・足指 ・鼻	免責となる部位はありません
支払対象となる 固定具*・ケガの種類	骨折等のケガの治療のために、医師の指示に より、ギプス、副木等の固定具を常時装着して ■ いたとき	ケガの種類にかかわらず、医師の指示により、 ギプス、副木等の固定具を装着したとき

*ギプス、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、シーネ、その他これらに類する固定具が支払対象です。
包定具の種類によっては支払対象外となる場合があります。

3

コープの三大疾病保険を三井住友海上と共同開発

コープ共済連は、三井住友海上火災保険株式会社とともに、2019年 12月から、団体保険を取り扱っている全国約50の会員生協の組合員を対 象に、新しい全国団体保険制度「コープの三大疾病保険」を発売しました。

人生100年時代を迎える中、長期かつ高額な治療に繋がる「三大疾病(がん、急性心筋梗塞、脳卒中)」に備える保険を、コープ共済連と三井住友海上が共同で開発しました。組合員とそのご家族のくらしの安心に貢献できるよう、CO・OP共済を補完する商品として、共済と団体保険を一体的に推進してまいります。

1. 商品概要

三大疾病のみ補償特約付「団体総合生活補償保険 (MS&AD型)」

(コープ共済連を保険契約者とし、三井住友海上を引受保険会社とする 団体保険契約)

(引受保険合物) 日本コープ共演生活協同組合連合会

三大表成のリスクに一時金で個える保証

VO)

魚性心筋梗塞

簡単申込み

2. 商品の4つの特徴

(1) 2つの質問で簡単申込み

簡単でわかりやすい健康状況告知とWebによる申込手続きを実現

質問① 過去2年以内に、病気により医師の手術を受けたこと、または入院したことがありますか?

質問② これまでに医師に悪性新生物(上皮内新生物を含む)・心筋梗塞・脳卒中のいずれかと診断されたことがありますか?

(2) ニーズに応じた2つのプラン(全6コース) を用意

三大疾病の手厚い補償をご希望の方は「スタンダードプラン」、お手頃な保険料をご希望の方は「シンプルプラン」

■スタンダードプラン200万円コースの場合

三大疾病診断保険金:200万円

三大疾病入院保険金:日額3,000円 三大疾病通院保険金:日額3,000円 先進医療費用保険金:2,000万円まで

※手術保険金付帯

(3) 長期にわたる安心の補償

組合員本人とそのご家族を加入対象とし、満1才から満84才の方の新規加入が可能(継続可能年令は100才まで)

(4)団体割引などの適用

団体割引と優良割引(損害率に応じて適用される割増引)を適用した保険料



CO・OP共済《あいぷらす》プラチナ85共済証書が UCDAアワード2019特別賞を受賞

コープ共済連は、一般社団法人ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会が主催する「UCDAアワード 2019」において、《あいぷらす》プラチナ85 の共済証書(証券)が『特別賞』を受賞しました。

《あいぷらす》プラチナ85は、2017年9月に取り扱いを開始した65歳以降の保障です。当商品の共済証書では、加入者の視点に立ち「高齢者にも読みやすい共済証書」を心がけ、文字の大きさを他のCO·OP共済商品の共済証書と比較して1.3倍にするなどの見直しを行ったことが評価され、今回の受賞となりました。今回の受賞は、UCDAアワード2017における「《あいぷらす》プラチナ85 募集パンフレット・加入申込書」のアナザーボイス賞受賞に続き、2度目の受賞となりました。

今後も加入者に寄り添い、CO·OP共済の共済証書やパンフレット等において「見やすく、わかりやすく、伝わりやすい」デザインを追求するとともに、加入者の皆様にご満足いただけるよう努力してまいります。



日本障害者スキー連盟とのゴールドパートナー契約締結

コープ共済連は、2019年9月27日、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟*と、ゴールドパートナー契約 を締結しました。CO·OP共済は、ケガや病気、災害など組合員のくらしの「もしも」を保障する生協の共済です。 「自分の掛金が誰かの役に立つ」という組合員同士の助け合いの心を形にしたものです。国連で採択されたSDGs (持続可能な開発目標)の目指す「誰一人取り残さない」という社会の在り様は、協同組合の理念と重なり合って おり、2018年に採択されたコープSDGs行動宣言には「誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加」 することを謳っています。

日本障害者スキー連盟へのゴールドパートナーとしての包括的な支援を通じて、「誰一人取り残さない」社会、 「誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくり」への一助となることを目指しています。

*特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟:

障がい者のスノースポーツを統括し、日本を代表する唯一の団体とし て、障がい者のスノースポーツの日本代表5チーム(6競技)(パラアル ペンスキー、パラノルディックスキー(クロスカントリースキー/バイア スロン)、パラスノーボード、IDアルペンスキー、IDノルディックス キー〉を統括する競技団体です。



「CO·OP共済2019ワールドパラノルディックスキー ワールドカップ札幌大会」の様子

2019年度の事業と経営の概況

1

2019年度における事業の概況

2019年度のCO·OP共済事業は、加入者数が全体で892万人に達し、受入共済掛金は194,888百万円 (前年 比102.0%)、共済金の支払いは138.1万件、68.934百万円 (前年比102.3%) となりました。

(1) 損益全体の概況

経常収益は、予算を超過し230,788百万円となりました。受入共済掛金は、予算を499百万円上回り(予算比100.3%、前年比102.0%、前年差+3,856百万円)、資産運用収益は、予算を427百万円超過しました(予算比126.0%)。

経常費用は、支払共済金が予算を472百万円上回り、共済契約準備金繰入額は予算を2,371百万円超過する結果となりました。また、事業経費は人件費予算差△138百万円、物件費予算差△786百万円、共済委託手数料予算差△22百万円、合計で予算を947百万円下回る結果となりました(うち共済委託手数料は予算比99.9%)。

経常剰余金は、予算比99.5%、予算差△258百万円の49,946百万円の実績となり、特別損益として、異常災害見舞金および価格変動準備金繰入額などを計上し、結果、税引前当期剰余金は49,289百万円となりました。 法人税等、法人税等調整額、割戻準備金繰入額を計上し当期剰余金は9,781百万円、当期首繰越剰余金、目的積立金取崩額を加え、当期未処分剰余金は10,790百万円となりました。

(2) 資産運用の状況

2019年度の資産運用は、年度資産運用方針に沿って、各資産の売買を執行しました。

国内債券では、国内金利が低下する中で、責任準備金に対応する超長期債券の組入れを中心に年度方針の想定を下回りました。委託運用では、外国債券、代替運用資産、不動産関連証券等の組入れを積極的に進めたことで年度方針の想定を上回りました。年度資産運用収益は、国内債券の利息収入が予算を下回ったものの、金銭の信託の配当や売却損益が予算を上回ったことから、年度予算(1,646百万円)を上回る2,073百万円となりました。資産運用費用(投資顧問料等)は、155百万円と年度予算(156百万円)並みとなりました。

(3) 課題

2019年度は、「共済中計2018」の基本方針にもとづき、下記の課題に取り組みました。

- ①2019年度商品改定(加入受付業務の見直し、加入引受基準の緩和、災害通院保障の固定具支払い基準の改定、《新あいあい》の制度改定、民法改正に伴う事業規約改定)の実施
- ②共済推進における「インターネット共済加入」・「早期共済加入」・「メディア戦略」の強化
- ③事務システムの改善(契約者専用のWeb手続きページ 「共済マイページ」のリリース、新契約事務システムの導入生協の拡大、新共済金支払システムの改善、西日本共済金支払事務センターの稼働開始、SMSを活用したコールセンター着信数削減の仕組みの開始)
- ④他事業との総合力の発揮(「CO·OP共済 健康づくり支援企画」の実施、保険事業による共済事業の補完)
- ⑤未来責任への準備(次期共済中計2022以降の事業施策を反映した統合リスク量とESRの計量化をすすめ必要資本量を確定、大規模震災への対応として、異常災害見舞金の支払10万件超過時のシステム開発、全国労働者共済生活協同組合連合会との連携方法の検討)

■ 主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
経常収益	206,560	213,137	219,660	225,541	230,788
経常剰余金	48,275	48,387	49,243	47,743	49,946
当期剰余金	10,376	10,384	10,224	8,766	9,781
出資金	63,354	63,355	63,358	63,359	63,359
出資□数 (単位:□)	633,546	633,556	633,586	633,596	633,596
純資産額	115,265	124,986	134,452	142,205	149,431
総資産額	329,601	358,004	389,773	421,662	452,014
責任準備金残高	110,267	125,174	141,910	159,960	177,822
貸付金残高	_	_	_	_	_
有価証券残高	201,775	173,974	179,958	198,482	189,000
支払余力比率 (%)	1164.6	1235.6	1299.7	1367.3	1417.0
剰余金配当の金額 (出資配当金)	760	760	760	760	760
職員数(単位:人)	1,174	1,199	1,083	1,215	1,277
保有契約高(単位:億円)	117,446	119,679	122,995	124,368	125,899

注1. 支払余力比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの一指標です。「消費生活協同組合法施行規則ならび に施行規程」に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。生命保険会社、損害保険会社のソルベンシー マージン比率とは単純に比較できません。なお、「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」の改正により、2019年度より新たな基準によ る数値を記載しています(2018年度以前の支払余力比率は法令改正前の基準による数値です)。

^{2.} 職員数は、外部への出向者、日本生協連・会員生協・他団体からの出向者、嘱託職員、派遣スタッフを含みます。

CO·OP共済事業の経過と実績

加入者数

CO·OP共済 7商品加入者数 892 万人*

元受4商品加入者数 ……… 850 万人

加入者数は12万人増加し、7商品合計で892万人(前年比101.4%)となりました。うち、CO·OP共済《たすけあい》592万人、CO·OP共済《あいぷらす》196万人、CO·OP共済《ずっとあい》終身生命10万人、CO·OP共済《ずっとあい》終身医療50万人となり、元受共済合計で850万人(前年比101.5%)となりました。

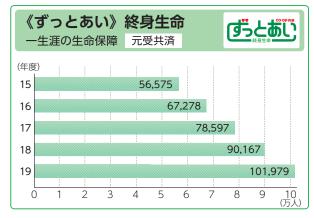
なお、元受共済では、新規加入者数が55万人となりました。

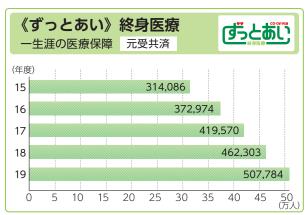
*CO·OP生命共済《あいあい》含む

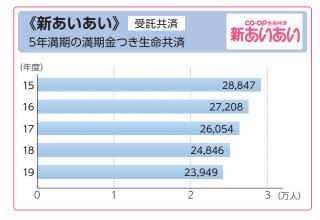
■加入者の推移













契約高

...... 12兆 5,899 億円 保有契約高

CO·OP共済の保有契約高(元受共済)は、12兆5.899億円(前年比101.2% 1.531億円増)となりました。

◆ 元受共済契約高の推移



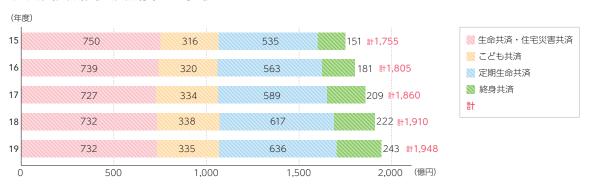
- 注1. 契約高は、生命共済・こども共済・ 定期生命共済および終身共済の各共 済事業における死亡・重度障害共済 金額の引受額の合計です。
- 2. 「生命共済」とは、《たすけあい》のジュ ニア20コース以外のコースおよび《あ いあい》の一部をさします。「こども共 済」とは、《たすけあい》のジュニア20 コースをさします。「定期生命共済」と は、《あいぷらす》をさします。「終身 共済」とは、《ずっとあい》をさします。 2,492 **計125,899** 3. CO·OP共済全体 (CO·OP共済グル ープ全体) 実績は参考資料をご参照く ださい。

共済掛金

......1,948億円

CO·OP共済の受入共済掛金 (元受共済) は、1,948億円 (前年比102.0% 38億円増) となりました。

◆ 元受共済受入共済掛金の推移



共 済 金

138万1,932件 689億円 支払共済金

CO·OP共済の共済金支払件数 (元受共済) は、138万1,932件 (前年比102.1% 27,837件増) となりました。 CO·OP共済の支払共済金額 (元受共済) は、689億円 (前年比102.3%) となりました。

◆ 共済金支払件数と支払共済金額の推移



※ 生命共済・住宅災害共済 ◯ こども共済 N 定期生命共済 ■ 終身共済 ● 共済金支払件数 計

経営概況

財務概況

◆ 資産および負債・資本の状況 (2020年3月20日現在)

(億円未満切り捨て)



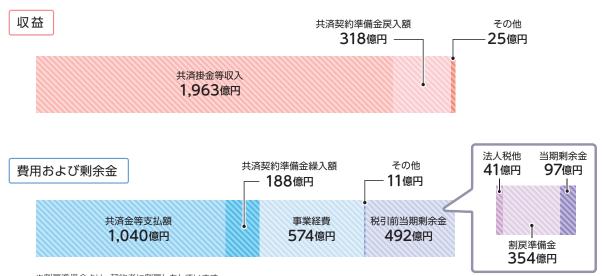
負債と純資産 4,520億円



損益概況

◆ 収入および費用の状況 (2019年3月21日~2020年3月20日)

(億円未満切り捨て)



剰余金処分

2019年度決算後の剰余金処分は以下のとおりです。

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

	2018年度	2019年度
当期未処分剰余金	10,498	10,790
剰余金処分額	11,290	11,686
法定準備金	1,760	1,960
出資配当金	760	760
任意積立金	8,770	8,966
次期繰越剰余金	441	489

注1. 次期繰越剰余金には教育事業等繰越金489百万円(当期剰余金の5%)を含んでいます。

支払余力比率

支払余力比率は、1417.0%となり、十分な支払余力を備えています。

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

項目	2018年度	2019年度
支払余力総額 (A)	196,744	208,816
リスクの合計額 (B)	28,779	29,474
支払余力比率(C) = (A) / {(B)×1/2}×100	1367.3%	1417.0%

- 注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの一指標です。消費生活協 同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規程第4条の2から第4条の5まで の規定に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。
 - 2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。
 - 3. 「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」の改正により、2019年度より新たな基準による数値を記載して います(2018年度以前の支払余力比率は法令改正前の基準による数値です)。

基礎利益

基礎利益は、以下のとおりです。

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

区分	2018年度	2019年度
基礎利益	50,980	51,961
利差益	271	339
危険差益	44,723	45,062
費差益	5,985	6,560

- 注1. 基礎利益は、損益計算書の「経常剰余」から有価証券売却損益などの「キャピタル損益」および異常危険準備金繰入 額などの「臨時損益」を除いて算出され、共済事業の基礎的な期間収益の状況を表す指標です。
 - 2. 利差益、危険差益、費差益について

利差益: 想定した資産運用益(予定利率)と実際の運用収益との差額

危険差益: 想定した共済金支払額(予定危険率)と実際に発生した共済金支払額との差額

費差益: 想定した事業費(予定事業費率)と実際の事業費との差額

割戻金の状況

CO·OP共済では、年度決算で生じた剰余金を契約者に割戻ししています。 各事業規約における契約者割戻準備金は、以下のとおりです。

CO·OP共済《たすけあい》

● 生命共済・住宅災害共済 (ジュニア20コース以外のコース)、こども共済 (ジュニア20コース)

2019年度の生命共済・住宅災害共済・こども共済における契約者割戻金の額は全体で209億6,300万円です。

■ 事業規約別の割戻準備金

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2018年度	2019年度
生命共済事業*	15,339	15,468
住宅災害共済事業	224	179
こども共済事業	5,326	5,316
合 計	20,889	20,963

^{*}生命共済事業には、CO·OP共済《あいぷらす》プラチナ85に付帯する先進医療特約を含みます。

CO·OP共済《あいぷらす》

● 定期生命共済

定期生命共済における契約者割戻準備金は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで 積み立ててお支払いします。

2019年度は、139億5,000万円を積み立てました。

■割戻準備金

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2018年度	2019年度
定期生命共済事業	13,521	13,950

CO·OP共済《ずっとあい》

● 終身共済

終身共済における契約者割戻準備金は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで 積み立ててお支払いします。

2019年度は、4億8,800万円を積み立てました。

■ 割戻準備金

(単位:百万円/百万円未満切り捨て)

規 約 名	2018年度	2019年度
終身共済事業	446	488

10

資産運用状況

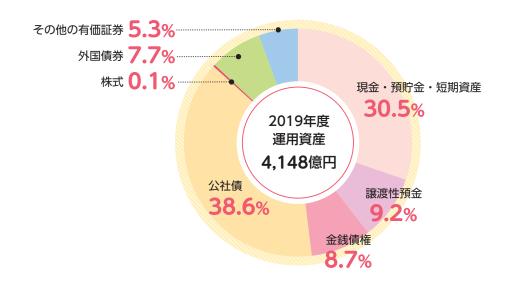
コープ共済連では資産運用方針に沿って、健全な運用に努めています。

資産運用方針

- ↑ コープ共済連では、CO・OP共済ご契約者の皆様からお預かりした資金を、「消費生活協同組合法施行規則」 に基づき、安全かつ効率的に運用を行います。
- 市場価格の変動リスクや信用リスク等の資産運用に関わる各種リスクについては、資産運用リスク管理規程 において、それぞれのリスク管理方法を定め、またALM (資産と負債の総合管理) の観点から負債特性を踏 まえ、適切な管理を行います。
- 資産運用にあたっては、資金の特性に応じ、預貯金や公社債といった安全資産を軸とした適切な運用・管理 を実施します。

■運用資産の状況

運用資産は、4,148億円となりました。その内訳は、現金・預貯金・短期資産が30.5%、譲渡性預金は9.2%、 金銭債権は8.7%、公社債が38.6%などで構成されています。



CO·OP共済商品の紹介

CO·OP共済では、医療・生命の保障である《たすけあい》、《あいぷらす》、《ずっとあい》、《新あいあい》と、住まいと家財の万が一に備える《火災共済》を扱っています。ご家族一人ひとりにあった商品、コースをお選びいただけます。

■ 商品ラインナップ



■ 生命・医療に関する保障イメージ

CO·OP共済は0歳から加入でき、加入者の一生涯の保障を提供しています。



CO・OP共済《たすけあい》(生命共済・住宅災害共済・こども共済)



入院、ケガによる通院など"生きていくなかで必要な保障"を手頃な掛金で充実させた共済商品です。コース により家族死亡や住宅災害の保障もついて、幅広い場面で加入者のお役に立っています。

ジュニア20コース

病気入院や子どもに多いケガの保障が充実。

■ 加入できる年齢 (発効日時点) / 性別 → 0歳~満19歳/男性・女性

■ 保障期間 → 満20歳の満期日まで

保障内容	J1000円コース 月掛金1,000円	J2000円コース 月掛金2,000円	J1900円コース 月掛金1,900円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から360日分)	日額 6,000円	日額 10,000円	日額 5,000円
事故 (ケガ) 通院 (事故日から 180 日以内 1日目から 90 日分)	日額 2,000円	日額 3,000円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万 円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 4・8・16万円
長期入院 (270日以上連続した入院)	36万円	60万円	30万円
事 故後遺障害 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 14~350 万円	障害の程度に応じて金額が変わります 28~700万円	障害の程度に応じて金額が変わります 14~350万円
病気死亡・重度障害	100万円	500万円	100万円
事故死亡・事故重度障害 (事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円	上記にプラス 300万円	上記にプラス 50万円
親死亡・親重度障害 (扶養者を含む)	4万円	20万円	4 万円
扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害 (事故日から2年以内)	100万円	700万円	100万円

女性コース

女性がかかりやすい病気での入院を特に手厚く保障。

■ 加入できる年齢 (発効日時点) / 性別 → 満18歳~満64歳/女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

保障内容	L2000円コース 月掛金2,000円	L3000円コース 月掛金3,000円	L4000円コース 月掛金4,000円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 5,000円	日額 7,000円	日額 10,000円
女性特定病気入院 (1日目から184日分)	1	記の日額にプラス 日額 3,000円	3
事故 (ケガ) 通院 (事故日から 180日以内 1日目から 90日分)	日額 1,000円	日額 1,500円	日額 2,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 4・8・16万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	30万円	42 万円	60万円
事 故後遺障害 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4~100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 4~100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 4~100万円
病気死亡・重度障害	100万円	200万円	300万円
事故死亡・事故重度障害 (事故日から2年以内)	上記にプラス 100万円		
家族死亡・家族重度障害 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円		
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半焼・半壊/全焼・全壊・流失	3・15・30万円		

医療コース

入院・手術・ケガ通院等、医療保障が充実。

■ 加入できる年齢 (発効日時点) /性別 → 0歳~満64歳/男性・女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

保障內容	V1000円コース 月掛金1,000円	V2000円コース 月掛金2,000円	V4000円コース 月掛金4,000円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 2,000円 * 19歳まで:1日目から360日分 20歳から:1日目から184日分	日額 5,000円	日額 10,000円
事故(ケガ)通院 (事故日から180日以内 1日目から90日分)	日額 1,000円	日額 1,500円	日額 3,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 1・2・4万円	手術の内容により金額が変わります 2・4・8万円	手術の内容により金額が変わります 4・8・16万円
長期入院 (270日以上連続した入院)	12万円	30万円	60万円
事 故 後 遺 障 害 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 2~50万円	障害の程度に応じて金額が変わります 4~100万円	障害の程度に応じて金額が変わります 8~200万円
病気死亡・重度障害	10万円	10万円	20万円
事故死亡・事故重度障害 (事故日から2年以内)	上記にプラス 50万円	上記にプラス 100万円	上記にプラス 200万円
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半焼・半壊/全焼・全壊・流失	3・15・30万円	3・15・30万円	6・30・60万円

^{*}発効日における年齢が0歳~満19歳の場合、満20歳の満期までは1入院について360日分で保障し、それ以降は184日分の保障となります。

ベーシックコース

入院・手術・死亡保障を中心に、幅広く保障。

■ 加入できる年齢 (発効日時点) /性別 → 0歳~満54歳/男性・女性

■ 保障期間 → 満65歳の満期日まで

保障内容	R3000円コース 月掛金3,000円	R4000円コース 月掛金4,000円
病気入院・事故(ケガ)入院 (1日目から184日分)	日額 5,000円	日額 7,000円
手 術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円
長 期 入 院 (270日以上連続した入院)	30万円	42 万円
事 故後遺障害 (事故日から2年以内の所定の後遺障害状態)	障害の程度に応じて金額が変わります 4~100万 円	障害の程度に応じて金額が変わります 8~200万円
病気死亡・重度障害	300万円	400万円
事故死亡・事故重度障害 (事故日から2年以内)	上記にプラス 100万円	上記にプラス 200万円
家族死亡・家族重度障害 (同居の親/扶養または同居する子/配偶者)	1・2・5万円	
住宅災害(火災等・風水害等) 一部焼壊(20万円以上の被害)・床上浸水/半焼・半壊/全焼・全壊・流失	3・15・30万円	

■《たすけあい》には、先進医療特約を付帯することができます。

先進医療共済金と先進医療一時金を合わせて1回あたり最高1,000万円

※新規募集を停止しているコース、加入条件をゆるやかにしているV1000円コース・J1900円コース、W1000円コースには付帯できません。

※本項の保障内容は2020年9月1日現在のものです。

※満85歳まで《あいぷらす》プラチナ85で保障を続けられます。

※ジュニア20コース、女性コース、ベーシックコース、医療コース、シルバー70コース、ウェルカムコースに追加して個人賠償責任保険に加入できます。個人賠償責任保険は、共栄火災海上保険株式会社を引受幹事保険会社とし、コープ共済連を団体保険契約者とする損害保険の団体契約です。 ※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO・OP共済《あいぷらす》(定期生命共済)



死亡・重度障害など万が一の備えを充実させた共済です。手 頃な掛金で最高3,000万円の生命保障が得られます。必要に応 じて入院特約・がんの特約を付帯でき、自分にあった保障が設 計できます。また、《たすけあい》との組み合わせでさらに保障 を充実させることもできます。男女・年齢別の掛金で、共済期 間は10年間(掛金は変わりません)、10年後の更新時には更新時 の満年齢の掛金に変わります。更新手続きをしながら、満85歳 まで保障を続けることができます。

	組み合わせパターンは4種類
1	生命保障
2	生命保障 + 入院特約
3	生命保障 + 新がん特約
4	生命保障 + 入院特約 + 新がん特約

満18歳 ~ 満60歳の方

加入できる年齢(発効日の年齢)/性別	共済期間	金 棋
満18歳~満60歳/男性・女性	10年間	加入時より10年間同じ

※満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。

必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害(病気・事故)

2,000万円 300万円 500万円 1,000万円 1,500万円 2,500万円 3,000万円

入院特約

入院1日目からしっかりカバー! どちらか1つお選びください。

	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故(ケガ) 入院 * (1日目から180日分)	日額 5,000円	⊟額 10,000円
長期入院 (270日以上連続した入院)	30万円	60万円
手術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	5・10・20万円 手術の内容により 金額が変わります	10・20・40万円 手術の内容により 金額が変わります

*病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート! どちらか1つお選びください。

	がん治療共済金 100万円	がん治療共済金 200万円
がん治療共済金 *1 (2年に1回を限度として何度でも)	100万円	200万円
がん入院共済金 (1日目からの支払い、日数無制限)	日額 10,000円	
がん手術共済金 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	10・20・40万円 ^{手術の内容により} 金額が変わります	
がん退院共済金 *2	10万円	
がん通院共済金 *3	日額 5,000円	

- *1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした 場合に支払います。支払回数に制限はありません。
- *2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。
- *3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間(契約を更新・更改した場合を含み ます) 通算して1,000日が限度です。
- ※本項の保障内容は2020年9月1日現在のものです。

満60歳 ~ 満70歳の方

加入できる年齢(発効日の年齢)/性別	共済期間	盘 盘
満60歳~満69歳/男性・女性	10年間	加入時より10年間同じ*
満70歳/男性・女性	15年間	加入時より15年間同じ

^{*}満期時に契約を更新、もしくは共済期間内で契約を更改する場合はそのときの年齢の掛金になります。

生命保障

死亡・重度障害を保障。

必ず保障金額をいずれか1つお選びください。

死亡・重度障害(病気・事故)	100万円	300万円	500万円
----------------	-------	-------	-------

[●]満60歳の方は生命保障1,000万円・1,500万円・2,000万円・2,500万円・3,000万円もお選びいただけます。

入院特約

入院1日目からしっかりカバー! いずれか1つお選びください。

	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
病気入院・事故(ケガ) 入院 * (1日目から180日分)	日額 3,000円	日額 5,000円	日額 10,000円
長期入院 (270日以上連続した入院)	18万円	30万円	60万円
手術 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 3・6・12 万円	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円

^{*}病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更新・更改した場合を含みます)通算して1,000日が限度です。

新がん特約

がん治療共済金などで手厚くサポート!

	がん治療共済金 50万円	
がん治療共済金 *1 (2年に1回を限度として何度でも)	50万円	
がん入院共済金 (1日目からの支払い、日数無制限)	日額 5,000円	
がん手術共済金 (共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)	5・10・20 万円 手術の内容により 金額が変わります	
がん退院共済金 *2	5 万円	
がん通院共済金 *3	日額 2,500円	

- *1 1回目は、がんと診断確定した場合に支払います。2回目は、がんと診断確定された日から2年経過以降にがんによる入院をした場合に支払います。支払回数に制限はありません。
- *2 20日以上連続した入院をして無事退院した場合。退院後180日以内の再入院にはがん退院共済金はお支払いしません。
- *3 5日以上連続した入院の退院後180日以内の通院。1入院につき30日分まで。全共済期間 (契約を更新・更改した場合を含みます) 通算して1,000日が限度です。
- ※掛金については、コープ共済連ホームページをご参照ください。 → http://coopkyosai.coop
- ※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。
- ※各商品の詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。
- ※2013年9月1日以前に発効した「がん特約」と本ページの「新がん特約」は異なります。がん特約は新規募集を停止しています。
- ※新がん特約の「責任開始日」は、申込日から91日目、または発効日のいずれか遅い日となります。

CO·OP共済《あいぷらす》プラチナ85



満65歳~満70歳までの方がご加入でき、入院・死亡保障を満85歳まで継続いただけます。保障内容は加入 時から満期まで変わりません。また、必要に応じて手術、死亡保障を上乗せすることができます。

	保障	内容										
	基本コース月掛金	女性2型	男性2型	女性3型	男性3型	女性4型	男性4型	女性5型	男性5型	女性1型	男性1型	
		2,000円		3,000円		4,000円		5,000円		1,000円		
	入院したとき	3,000円	2,000円	4,500円	3,000円	6,000円	4,000⊞	7,500円	5,000円	1,500円	1,000円	
	死亡したとき	6 万円	4 万円	9 万円	6 万円	12万円	8 万円	15 万円	10万円	3 万円	2 万円	
共済期間 満85歳の満期終了日				期終了日ま	まで			満85 満期終〕				
	新規加入できる 年齢				満65歳~	~満70歳				《たすけあい》 65歳満期時移行、 特例加入専用コース		

※掛金の払込方法は月払のみです。 ※1名につき1契約のみ加入できます。 ※特約は1名につきそれぞれ1口まで加入できます。 ※特約のみの加入はできません。 ※1回の入院の支払限度日数は184日です。 ※重度障害共済金、長期入院共済金の保障はありません。 ※解約返戻金はありません。 ※病気入院、事故(ケガ)入院それぞれ全共済期間(契約を更改した場合を含む)通算して1,000日が限度です。

┡ 次の特約を任意で付帯できます。

•	手術サポート特約	月掛金:女性600円/男性800円				
		手術 1 回につき一律2万円(共済事業規約に定める支払対象手術を受けた場合)				

	死亡保障上乗せ特約	月掛金:女性600円/男性1,300円
•		基本コースの死亡保障にプラス30万円

	先進医療特約	月掛金:性別にかかわらず100円			
		先進医療共済金と先進医療一時金を合わせて1回あたり最高1,000万円			

※《あいぷらす》プラチナ85に追加して個人賠償責任保険に加入できます。 ※詳細は、商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

CO·OP共済《ずっとあい》終身生命·終身医療 (終身共済)



《ずっとあい》終身生命と《ずっとあい》終身医療の2つの商品からなる、一生涯保障の続く共済です。「終身 共済を作ってほしい。やはり、信頼できるCO·OP共済で終身まで固めたい。」「これからもずっと加入し続け たいと思うが、終身タイプのプランも作ってほしい。」などの組合員からの声に応えて誕生しました。

0歳から満70歳までの方が加入でき、加入時から一生涯掛金は変わりません。掛金の払込期間については、60歳・65歳・70歳までに払い終える短期払と、月々の掛金を抑えることのできる終身払を選ぶことができます。

ずとあじ 終身生命

一生涯の生命保障

加入できる年齢(発効日の年齢)	共済期間	金
0歳~満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳~満	70歳まで	満15歳〜 満60歳まで	満45歳〜 満70歳まで	満60歳~ 満70歳まで
コース	コース 300 万円 コース		1,000 万円 コース	200 万円 コース	100 万円 コース
死亡・重度障害 (病気・事故)	300万円	500万円	1,000万円	200万円	100万円

[※]万一途中で解約された場合、解約返戻金があります。

ずとおり終身医療

一生涯の医療保障

加入できる年齢(発効日の年齢)	共済期間	金
0歳~満70歳	終身	加入時より一生涯同じ

※年齢により加入できるコース、選べる払込期間が違います。

加入できる年齢	0歳	満60歳~満70歳まで	
加入ででる一層	満70歳まで 満60歳まで		
コース	入院日額 5,000円コース	入院日額 10,000円コース	入院日額 3,000円コース
病気入院・事故(ケガ)入院 1日目から180日分	日額 5,000円	日額 10,000円	⊟額 3,000円
手術 (共済事業規約に定める (支払対象手術を受けた場合)	手術の内容により金額が変わります 5・10・20万円	手術の内容により金額が変わります 10・20・40万円	手術の内容により金額が変わります 3・6・12万円

※《ずっとあい》終身医療に解約返戻金はありません。

※掛金払込期間中に被共済者が重度障がい状態に該当したとき、それ以降の掛金の払い込みは免除となり、保障は一生涯続きます。

※本項の保障内容は概要です。募集のためのものではありません。

※各商品の詳細は商品パンフレット、重要事項説明書、ご契約のしおりをご覧ください。

※病気入院、事故 (ケガ) 入院それぞれ全共済期間通算して1,000日が限度です。

[※]余命6ヵ月以内と判断された場合、リビングニーズ共済金がご請求いただけます。

CO·OP生命共済《新あいあい》

個人長期生命共済 (全国労働者共済生活協同組合連合会)



死亡保障(最高 疾病死亡2,000万円、災害死亡4,000万円まで)、満期金を中心とした基本契約に、入院・ 手術・医療保障の特約を組み合わせることで、ご自身に合った保障を設計できる共済です。5年満期更新型で 5年後には満期金が戻ってきます(最高500万円まで)。更新することで、最長満80歳まで保障を継続できます。

CO·OP火災共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済 (全国労働者共済生活協同組合連合会)





火災、消火作業による冠水・破壊、落雷、破裂・爆発、他人の車両の飛び込み、他人の住居からの水ぬれ、 突発的な第三者の直接加害行為、建物外部からの物体の落下・飛来、風水害などから、住まいと家財を保障す る共済です。家財だけでも加入でき、自然災害に対する保障を確保する「自然災害共済」を付帯することもでき ます。